取扱説明書

日立パッケージエアコン

システムフリーZ

床置型室内ユニット

ゆかおき

このたびは日立パッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、エアコンを正しくご使用ください。

お読みになった後は、大切に保管してください。
保証書は室外ユニットに付属しています。
わからないときは、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

お客様がご使用になっているエアコンの室内ユニットは☑のものです。

		室内ユニット単体型式	
冷房専用型／冷暖房兼用型	単相機（ヒーターレス）	□RPV-AP［　　］K	型式をご記入のうえ、お客様にお渡しください。
冷暖房兼用型	三相機（ヒーター付）	□RPV-AP［　　］KT	型式をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

次の室外ユニットと組み合わせてあります。	RAS-［　　］	型式をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

この取扱説明書は室内ユニット用です。
組み合わせられる室外ユニットに付属している取扱説明書も併せてご覧ください。

HITACHI
Inspire the Next

もくじ

ご使用の前に

運転のしかた

お手入れ・アフターサービス

はじめに

●この製品は国内向け一般空調用です。
●食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使わないでください。
●次のような場所への設置はしないでください。多くの場合エアコンが故障する原因になります。
・油(機械油も含む)の飛沫・蒸気の多い場所。
・火炎・油・水蒸気・粉など直接吸い込む恐れがある場所。
・温泉地など硫化ガスの多い場所。
・可燃性ガスの発生・流入などの恐れがある場所。
・海岸地帯の塩分の多い場所。
・酸性またはアルカリ性の雰囲気の場所。
・腐敗物の保管所などガスが発生する恐れがある場所。
●電磁波を発生する医療機器などを使用するときは、エアコンの誤作動防止に注意してください。
電磁波の発信面を、室内ユニットの電気品箱・リモコンコード・操作パネル・リモコンスイッチに直接向かわない位置に据え付けてください。
電磁波の空中伝播の影響をさけるため、電磁波を発信する機器・ラジオなどは、エアコンより3m以上離してください。

記号の意味

⚠警告：取り扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定できる場合を示します。

⚠注意：取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定できる場合を示します。

留意事項：警告・注意以外の注記事項を示します。

メモ：知っていると便利な情報を示します。

⊘：禁止事項を示します。

❗：強制事項を示します。特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示です。

⏚：強制事項を示します。必ずアース線を接続するよう指示する表示です。

☞：参照ページを示します。

安全のため必ずお守りください

●ご使用の前に、この「安全のため必ずお守りください」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、「⚠警告」・「⚠注意」に区分していますが、誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「⚠警告」の欄にまとめて掲載しています。
しかし、「⚠注意」の欄に掲載した事でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。いずれも安全に関する重要な内容を掲載していますので必ずお守りください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

据付・電気工事について

⚠警告		
	●据え付けは、お買い上げの店または専門業者に依頼してください。 ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニット落下によるケガの原因になります。	
	●小部屋に据え付ける場合は、冷媒が漏れても限界濃度を超えないように換気対策をする必要があります。万一、冷媒が漏れて限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。 詳しくはお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。	
	●電気工事をするには資格が必要ですので、資格のある店に依頼してください。 ご自分で電気工事をされ不備があると、感電および火災の原因になります。 万一、アースが外れると感電の恐れがありますので、最寄りの電気工事店に連絡し、アースを取り付けてください。	
	●漏電遮断器が取り付けられているか確認してください。 漏電遮断器が取り付けられていないと、感電および火災の原因になります。	

安全のため必ずお守りください(つづく)

運転中に

警告

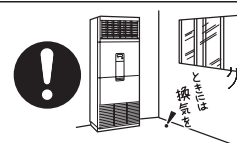
●空気の吹出口および吸込口に指や棒などを入れないでください。
内部で回転しているファンや電気品にあたり、ケガの原因になります。

●濡れた手で操作パネル・多機能リモコンを操作しないでください。
感電の原因になります。

●エアコンを運転している部屋では引火物を使わないでください。
ラッカーやペイントなどの可燃性スプレーおよび油（機械油も含む）の蒸気は発火の原因になります。

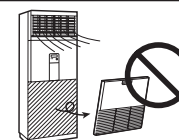
●エアコンの風が直接あたる場所へ燃焼器具を置かないでください。
燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。

●長時間冷風を身体に当てたり、冷やしすぎないようにしてください。
体調悪化および健康障害の原因になります。

●燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になります。

●安全装置がたびたび作動したり運転スイッチの作動が確実でない場合は、ただちに元電源を切ってください。
漏電または過電流の可能性があるため、感電・火災・破裂の原因になります。
お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

●異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して、元電源をただちに切ってください。
異常のまま運転を続けると故障・感電・火災などの原因になります。
お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

●不燃性・非毒性・無臭性の安全冷媒（フルオロカーボン）を使用していますが、万一、フルオロカーボンが漏れて火気に触れると有害ガスが発生する原因になります。また、フルオロカーボンは空気より比重が重いため、床面付近をおおい酸素欠乏の原因になります。
●万一、フルオロカーボンが漏れたときには、ストーブなどの火気を消して床面を掃くようにして換気したうえで、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

●エアコンのサービスカバーやパネルを外したまま運転しないでください。
ファンが露出して非常に危険です。また、電気部品の通電部分に触れると感電の原因になります。

注意

●エアコンの風が直接あたる場所に動植物を置かないでください。
動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

安全のため必ずお守りください（つづき）

修理・移設について

⚠警告

●エアコンを修理または移設するときは、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。
修理や据え付けに不備があると、感電および火災などの原因になります。

その他の警告および注意

⚠警告

●お手入れの際は、必ずエアコンの元電源を切ってから作業してください。
感電および傷害の原因になります。

●お手入れの際は、エアコン内部に水を入れないようにしてください。
電気品に水がかかると感電の原因になります。

●製品および電気配線の改造変更をしないでください。
重大事故の原因になります。

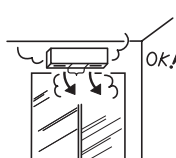
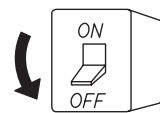
●お手入れの際は、足場はしっかりしたものを使用してください。
転倒および傷害の原因になります。

●お手入れの際は、室内ユニットに水やスプレー式の洗剤をかけないでください。
電気ショートによる感電および火災の原因になります。

●エアコンの配管内には冷媒が封入されているため高圧になっています。資格者以外は配管接続部をゆるめたり、外したりしないでください。
資格者以外が作業をすると重大事故の原因になります。

⚠注意

●空気吸込グリルの開閉やエアーフィルターの取り付け時・取り外し時は手でしっかり保持してください。
落下および傷害の原因になることがあります。

上手にお使いいただくために

次の範囲でお使いください

区分＼条件	室外ユニット吸込空気温度は	室内ユニット吸込空気温度は（室内温度ではありません）
冷房運転	－5℃以上43℃以下（乾球）	約21.5℃以上30℃以下（乾球）（相対湿度約80%以下）
暖房運転	約－10℃以上15.5℃以下（湿球）	17℃以上25℃以下（乾球）

注）1. 上記範囲外の場合は機械の保護装置が働いて、運転ができないことや、室内ユニットから露が落下することがあります。
2. 冷房専用室外ユニットと組み合わせで使用した場合は、暖房運転は行いません。

上手にお使いいただくために

効果的にお使いいただくには

窓および出入口は開けたままにしない	窓には、カーテンまたはブラインドを	冷房中は発熱器具をできるだけ使わない
運転効率が悪くなります。 室内ユニットの結露の原因になります。 （換気にも十分注意してください。）	直射日光をふせぎ、冷房効果が良くなります。 	冷房効果が弱くなります。 露付き・露落下の原因になります。

天井に熱い空気がこもる場合は、サーキュレーターのご使用を	長期間使用しないときは元電源を切る
快適性が向上します。詳しくはお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。 	元電源を切らないと、エアコンを使用しない期間も待機電力分の料金を支払わなくてはなりません。 シーズンオフはOFF

冷房・暖房を十分に行きわたらせるには

冷　房

1. 風量

通常は「強風」で使用します。
「急風」にすると、さらに風が広く行きわたります。

2. 温度

おすすめ設定温度は27～29℃です。冷えが良くないときには低めに設定します。

暖　房

1. 風量

通常は「強風」で使用します。
「急風」にすると、さらに風が下まで広く行きわたります。

2. 温度

おすすめ設定温度は18～20℃です。暖まりが良くないときには高めに設定します。

メモ **ビル用マルチの特性**について

室内ユニットの運転台数変化時や運転モード変化時に、**吹出空気温度が変化**し室内温度が変わる場合があります。このような場合は次のように設定してください。

- **冷房**のとき：温度設定値を少し下げてください。
- **暖房**のとき：温度設定値を少し上げてください。

各部のなまえと安全注意事項の表示

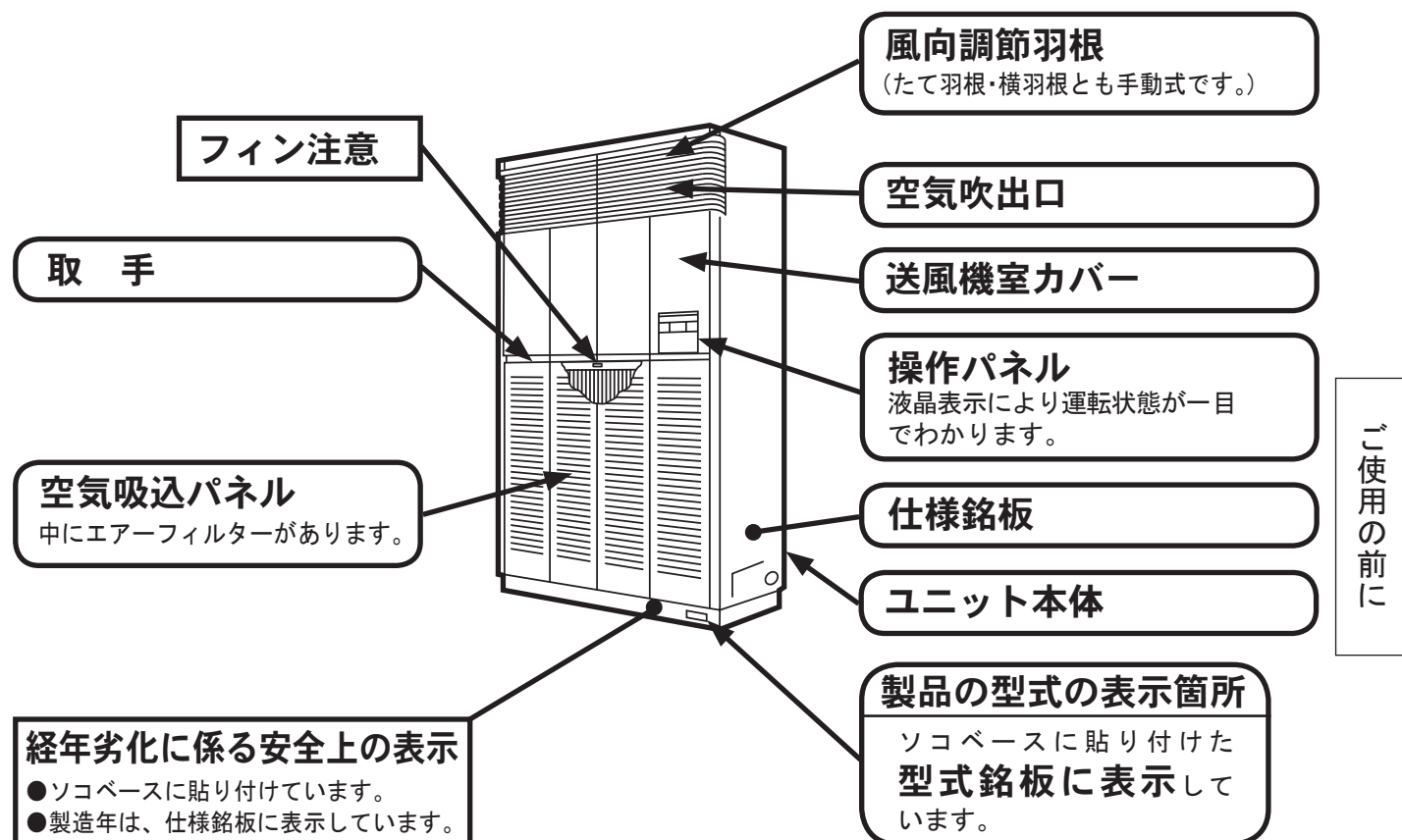
●お買い上げのエアコンにはお使いになる方が安全にお使いいただくため、エアコン本体に安全注意事項の表示をしています。ご使用の際やお手入れの際は安全のため、注意事項を必ずお守りください。

安全注意事項	回転物警告	上乗り注意	経年劣化に係る安全上の表示
表示内容	⚠警告 ケガの恐れあり 指や棒を入れないでください。	⚠注意 転倒、ケガの恐れあり ユニットの上に乗らないでください。	※本製品(パッケージエアコン)は、業務用エアコンです。下記の【設計上の標準使用期間】は、家庭用としてご使用された場合を想定して表示をしています。 ※【設計上の標準使用期間】 10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

室内ユニット

《RPV-AP50 ～ 160K(T)の場合》

各部のなまえと安全注意事項の表示

《RPV-AP224, 280Kの場合》

安全注意事項の表示箇所	● 上図中の ▭ に示す位置に貼り付けています。

留意事項

● 操作パネルの操作は**指で軽く押して**ください。
ボールペンなどの先のとがったもので操作すると**操作部の破損の原因**になることがあります。
● 別売のワイヤレスリモコンをご使用のときは、受光部キットに付属の取扱説明書に従って操作してください。

操作パネルのなまえ

表示部

（下の表示は説明のため、すべてを表示しています。実際の運転時とは異なります。）

風量調節表示
（☞10ページ）

換気切換表示
（☞12ページ）

運転モード表示
（☞9ページ）
暖房表示は冷暖房兼用型のみ表示します。

冷暖自動モード表示
（☞22ページ）
冷暖房兼用型のみ表示します。

運転ランプ（赤色）

オートルーバー表示
（☞10, 13ページ）

除霜表示
（☞16ページ）
冷暖房兼用型のみ表示します。

集中制御表示
別売の多機能集中コントローラー使用時に点灯します。

タイマー運転状態表示
（☞11ページ）

温度表示
（☞10ページ）

アラームコード表示
（☞17, 29, 30ページ）
この表示はエアコンの異常時に表示されます。

機能なし表示 機能がありません
本エアコンで使用できないスイッチを押したときに5秒間点滅表示されます。

ホットスタート表示 ホットスタート
（☞16, 23ページ）
運転状態が制限されているときに表示されます。

操作制限表示 操作ロック
（☞15ページ）
操作が制限されているときに表示されます。

アラーム表示
（☞17, 29, 30ページ）

フィルター清掃表示
（☞16, 24ページ）

送風 冷房 暖房 ドライ　急風 強風 弱風　空調 換気　風向　除霜中　集中制御　入切タイマー　88.88　アドレス　系統K時間　機能がありません　操作ロック　ホットスタート　サービス 88　設定温度 88 ℃ % 台　アラーム　昇降　フィルタ　試運転　点検　リモコンサーモ

運転/停止　温度調節　運転切換　風量　入/切タイマー　リセット　昇降　換気切換　オートルーバ　時間設定　点検

運転/停止スイッチ
（☞9ページ）

風量スイッチ
（☞10ページ）

運転切換スイッチ
（☞9ページ）

昇降スイッチ
本エアコンでは使用できません。

換気切換スイッチ
（☞12ページ）

オートルーバースイッチ
（☞10, 13ページ）

タイマー時間設定スイッチ
（☞11ページ）

温度調節スイッチ
（☞10ページ）

フィルターリセットスイッチ
（☞16, 24, 25ページ）

点検スイッチ
（☞10ページ）
このスイッチはサービスマン専用ですので押さないでください。

入/切タイマースイッチ
（☞11ページ）

ふたの開けかた

手前へ引く

RPV-AP224, 280Kは、ふたを一度押してください。
ふたが少し手前に出ますので、手前に引いてください

操作部

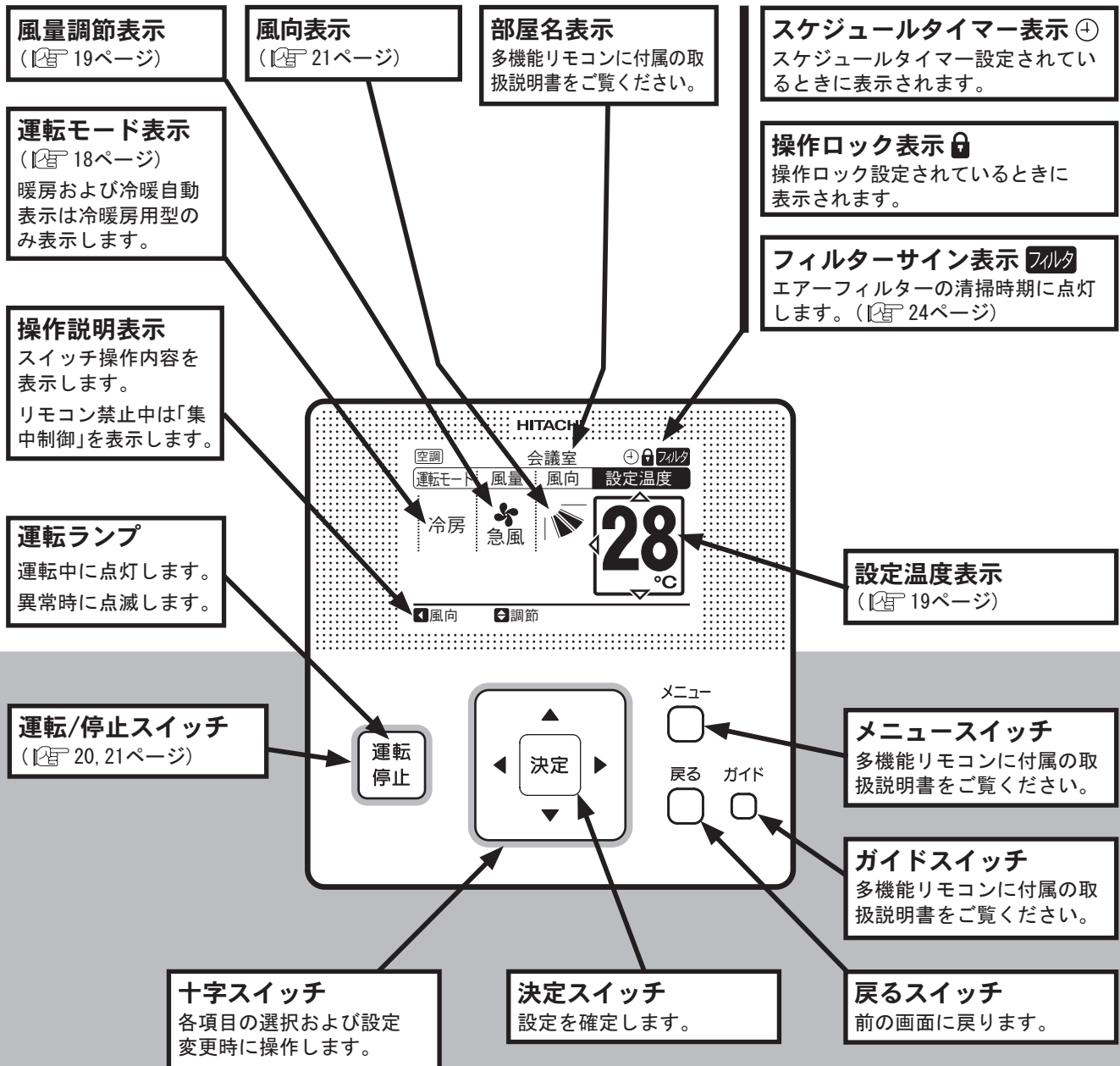
（上の図はふたを開けた状態を示しています。）

ご使用の前に

多機能リモコンのなまえ

表示部

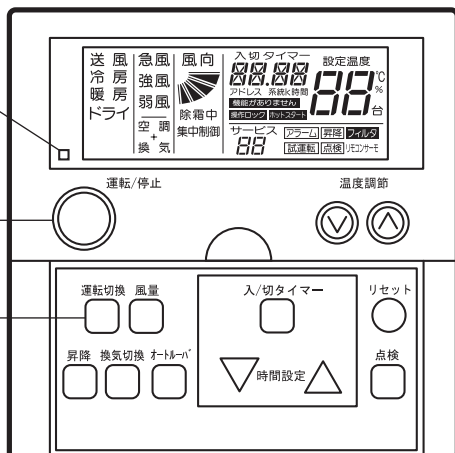
（下の表示は説明のため、画面は「運転操作画面」を表示しています。実際の運転時とは異なります。）

図はPC-ARF1, PC-ARFVの場合を示します。

操作部

留意事項

- 多機能リモコンの操作は**指で軽く押して**ください。
  ボールペンなどの先のとがったもので操作すると**操作部の破損の原因**となることがあります。
- 詳細は、多機能リモコン付属の取扱説明書に従って操作してください。

冷房・暖房・ドライ・冷暖自動・送風運転のしかた

暖房運転は、[冷暖房兼用機]のみの機能です。[冷房専用機]は、暖房運転できません。

運転と働き

- **●冷房運転** ・・・・・ お部屋の空気を冷やします。
- **●暖房運転** ・・・・・ お部屋の空気を暖めます。
- **●ドライ運転** ・・・ 通常の冷房運転より湿度を多めに取ります。
- **●送風運転** ・・・・・ 室内の空気を循環させます。

メモ おすすめ**経済温度**は次のとおりです。

- ●冷房運転・・・・・・・・・・・・・・・・27 ～ 29℃
- ●暖房運転・・・・・・・・・・・・・・・・18 ～ 20℃
- ●ドライ運転・・・・・・・・・・・・・・23 ～ 25℃

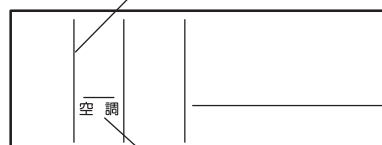
運転のしかた

準備

電源を入れます。

圧縮機保護のため、運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。

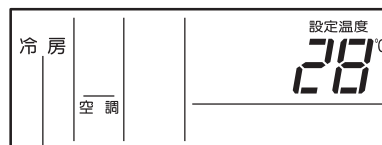
シーズン中は電源を切らないでください。

“液晶に仕切線が表示されます。”

“液晶に「運転対象」が表示されます。”

1

運転切換 **スイッチ**を押します。

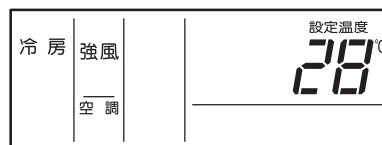
運転切換 スイッチを押すごとに、→冷房→暖房→ドライ→送風→ の順に表示されます。

（冷房専用型は →冷房→ドライ→送風→ ）

（「冷房」モードに設定した場合を示します。）

2

運転／停止 **スイッチ**を押します。

運転ランプが点灯します。

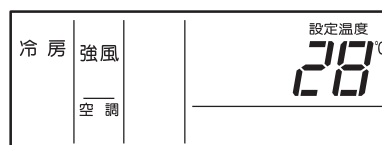
運転を開始します。

温度・風量・風向の設定

●一旦設定すると設定状態を記憶していますので**日常の設定は不要**です。設定を変更する場合は次のページの操作をしてください。

停止

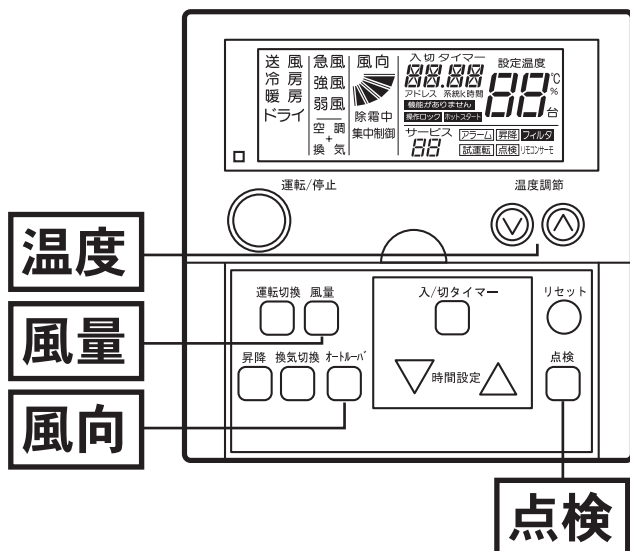
もう一度 運転／停止 **スイッチ**を押します。

運転ランプが消灯します。

運転を停止します。

●暖房運転停止後、約2分間送風運転することがあります。

●「冷暖自動」の使用については別途設定が必要です。詳しくはお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

●「冷暖自動運転」については 22 ページをご参照ください。

温度・風量・風向設定のしかた

メモ 点検 スイッチは触らないでください

● 点検 スイッチは**サービス専用**です。

●誤って押して点検モード（点検 が点灯）になったときは、もう一度 点検 スイッチを約3秒間押してください。
約10秒間おいてもう一度 点検 スイッチを押すと元の運転モード（点検 が消灯）に戻ります。

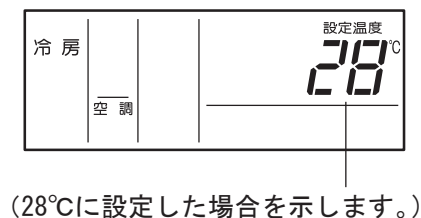
温度

温度調節 **スイッチ**を押します。

△部を押すごとに、1℃ずつ上がります。
（最高30℃）

▽部を押すごとに、1℃ずつ下がります。

（冷房・ドライ・送風モード時..... 最低19℃
暖房モード時.................. 最低17℃）

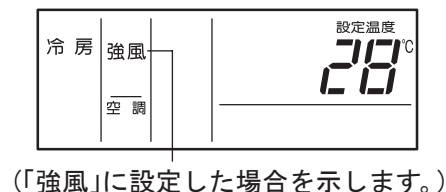
（28℃に設定した場合を示します。）

留意事項

●機能選択で設定温度自動復帰設定時は、温度変更から一定時間経過後に自動的に温度が変わります。
●設定可能な温度の最高および最低値は、「機能選択の設定温度冷房下限値（または暖房上限値）設定」により変更することができます。
●機能選択の「設定温度自動復帰設定」、「設定温度冷房下限値（または暖房上限値）設定」については、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

風量

風量 **スイッチ**を押します。

押すごとに、→急風→強風→弱風→ と表示が切り換わります。
通常は「強風」で使います。

（「強風」に設定した場合を示します。）

●ドライ運転時は自動的に「弱風」となり、風量の切り換えはできません（表示は設定状態のままです）。

風向

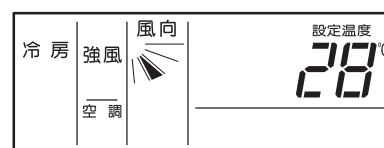
オートルーバ **スイッチ**を押します。

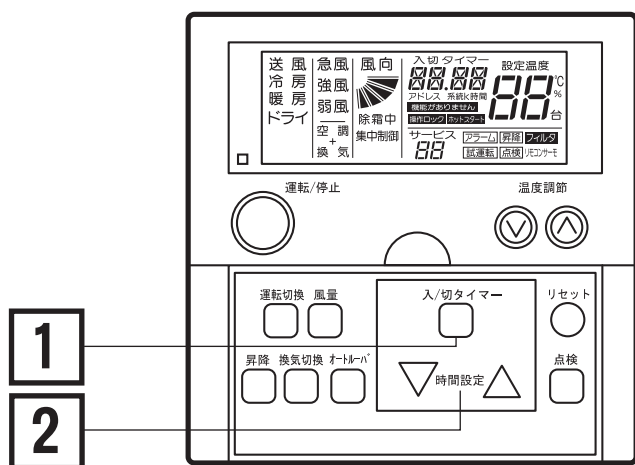
一度押すごとに、オートスイング⇔固定を繰り返します。

<固定の場合>

風の吹出状態を表示します。

<オートスイングの場合>

連続的に◀表示が移動します。

●RPV-AP224,280Kタイプは、オートルーバー機構は不付です。

タイマー運転のしかた

運転と働き

●ご希望時間の経過後に運転を始めたり、止めたりする運転です。

●**入タイマー・切タイマー・入切タイマー**の3通りの設定ができます。

「入　タイマー」

エアコンの**停止中**にスイッチを押します。
セットした時間経過後から運転が始まります。

「切タイマー」

エアコンの**運転中**にスイッチを押します。
セットした時間経過後に運転が止まります。

「入切タイマー」

入タイマー（切タイマー）**設定中**にスイッチを押します。

入タイマー（切タイマー）でセットした時間の経過後に運転が始まり（止まり）、切タイマー（入タイマー）でセットした時間の経過後に運転が止まり（始まり）ます。

運転のしかた

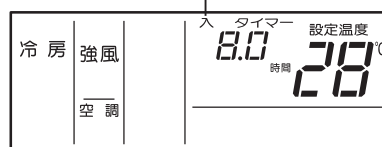
1

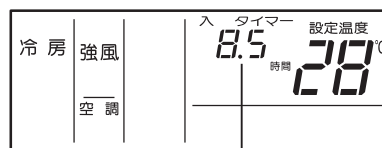
入/切タイマー **スイッチ**を押します。

停止中に押すと「入　タイマー」、運転中に押すと「切タイマー」が表示されます。

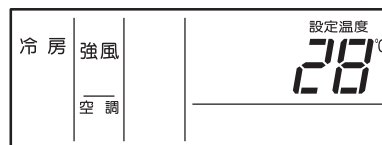
「入切タイマー」設定した場合は、スイッチを押すごとに「入　タイマー」と「切タイマー」の表示が切り換わります。

（入タイマーを設定した場合を示します。）

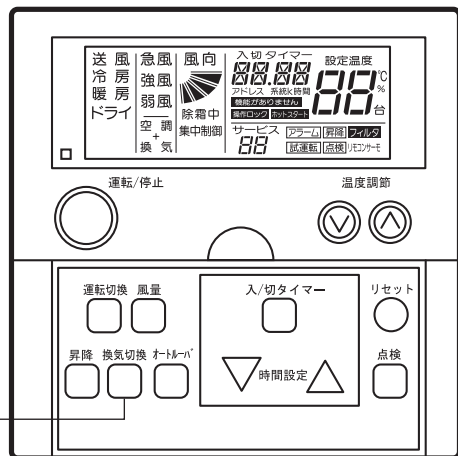
2

▽時間設定△ **スイッチ**を押して時間を設定します。

- △部を押すと0.5時間（30分）ずつ、最大72時間まで増えます。
  ▽部を押すと0.5時間（30分）ずつ、最小0.5時間まで減ります。
- 時間を設定しない場合は、自動的に8時間が設定されます。

（タイマー設定を8.5時間に設定した場合を示します。）

取り消し

入/切タイマー **スイッチ**を3秒間押します。

換気切換スイッチの設定のしかた

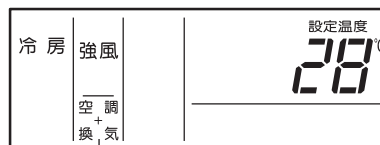
本機能は、全熱交換器と連動する場合のみ有効です。全熱交換器が接続されていない場合に下記の操作をすると、機能がありません の文字が5秒間点滅表示されます。

換気
切換

運転と働き

- **空調**‥‥‥ エアコンが単独で運転します。
- **換気**‥‥‥ 全熱交換器が単独で運転します。
- **空調＋換気**‥‥‥ エアコンと全熱交換器が連動運転します。

換気切換 **スイッチ**を押します。

換気切換 スイッチを押すごとに、

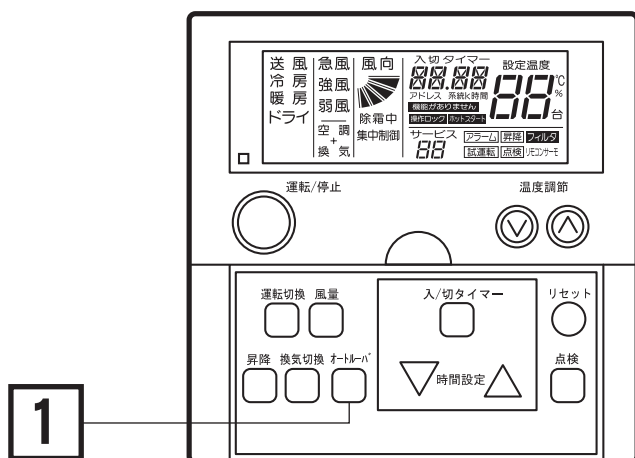
→空調→換気→空調＋換気→ の順に表示されます。

（エアコンと全熱交換器との連動に設定した場合を示します。）

●テレコントローラー制御を使用する場合は、エアコンと全熱交換器の連動に設定してください。
●CS-NETを接続する場合は、エアコン単独またはエアコンと全熱交換器の連動に設定してください。

詳しくはお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

風向の調節のしかた

《RPV-AP50 ～ 160K(T)の場合》

●左右方向の風向調節

運転と働き

●風の吹き出し方向をご希望の角度にする運転です。
●風の吹き出し方向の設定は次の2通りがあります。

固定
ご希望の角度に風向を固定することができます。

オートスイング
連続的に風向を変えることができます。

留意事項

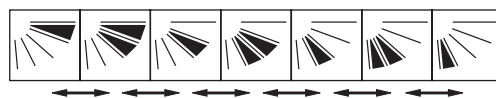
●左右方向の風向調節はオートスイング、上下方向の風向調節は手動式です。

1

オートルーバ □ **スイッチ**を押します。

一度押すごとに固定とオートスイングを繰り返します。

固定・・・・表示が停止します。

オートスイング・・・表示が連続的に変化します。

固定の方法

オートスイングさせ、**液晶表示が希望する吹出角度へきたら**再度 オートルーバ □ **スイッチ**を押します。

液晶表示とたて羽根の向きの関係は、右図のようになっています。

（冷房およびドライ運転のときは⑥、⑦の位置で押しても、自動的に⑤の位置に固定されます。）

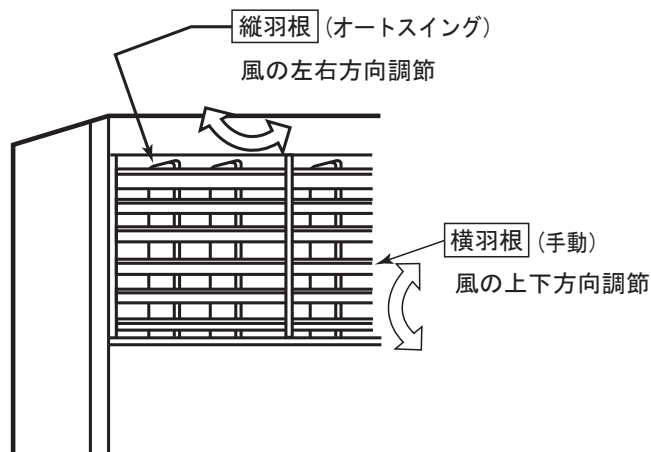
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
液晶表示								
たて羽根の停止位置	冷房ドライ	Ⓐの位置	Ⓒ約20°	Ⓒ正面位置約40°	Ⓒ約60°	Ⓑの位置		
	暖房	Ⓐの位置	Ⓒ約15°	Ⓒ約25°	Ⓒ正面位置約40°	Ⓒ約55°	Ⓒ約65°	Ⓑの位置

●液晶表示の羽根の位置と、エアコンの風向調節羽根の位置はオートスイング時に必ずしも一致しません。固定する場合は液晶表示の位置を見て風向角度を設定してください。
●スイッチを押しても羽根がすぐにスイングおよび停止しないことがあります。
●風向調節羽根は、オートスイング時約25 ～ 30秒の周期でスイングを繰り返します。
●たて羽根はオートルーバー機構が付いていますので、手動では動かさないでください。

風向の調節のしかた

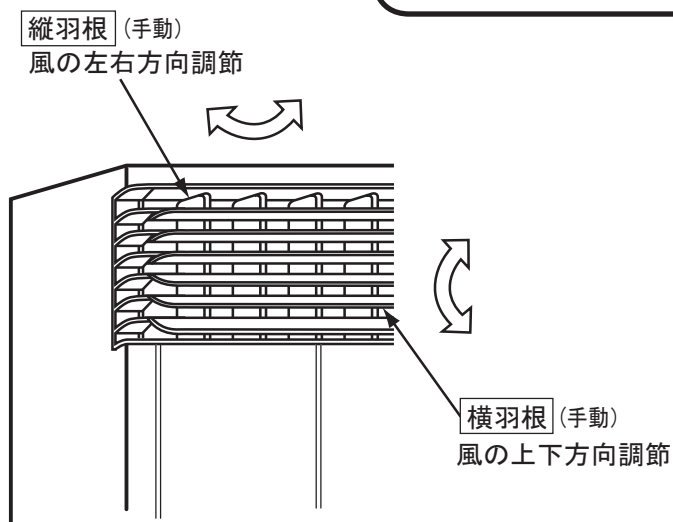
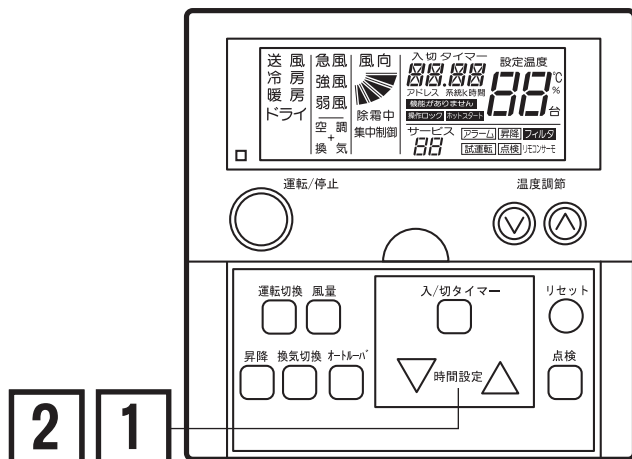
《RPV-AP50 ～ 160K(T)の場合》

●上下方向の風向調節

横羽根は連結棒でつながれています。
横羽根を手で動かして希望の方向(上下)にセットしてください。また、冷風や温風が直接体に当たらないように風の向きを調節してください。

《RPV-AP224,280Kの場合》

●上下、左右方向の風向量調節

お部屋全体に風が行きわたり室温がほぼ均一になるように羽根を手で動かして調節してください。また、冷風や温風が直接体に当たらないように風の向きを調節してください。

●上下方向および左右方向の風向は、手動で調節します。
●操作パネルによるオートスイングおよび角度固定機能はありません。

操作ロックの設定のしかた

運転と働き

●リモコンスイッチのスイッチ操作を無効にさせる機能です。

●以下の5種類のスイッチ操作を無効にできます。

(1)「運転切換」
(2)「温度調節」
(3)「風量」
(4)「オートルーバー」
(5)「入/切タイマー」

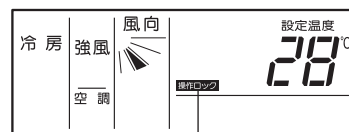
運転のしかた

1

〈操作ロックの設定〉

▽時間設定△**スイッチ**を同時に3秒押します。

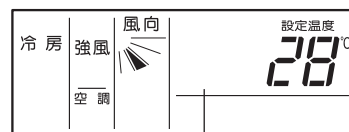
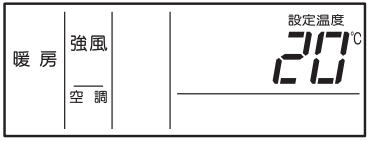
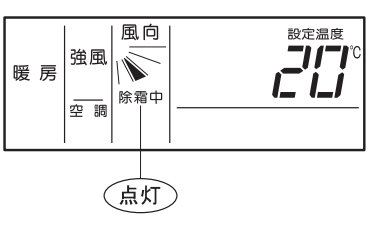
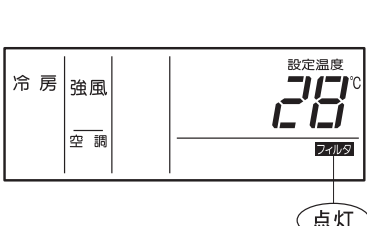
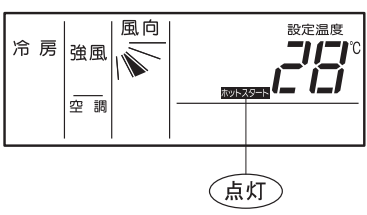
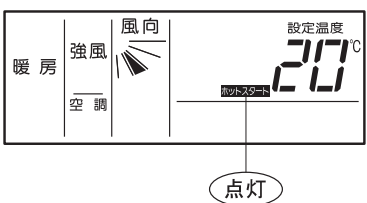
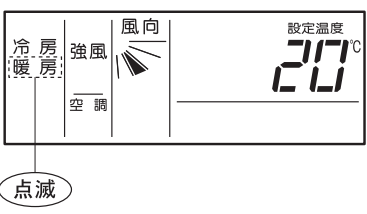
操作ロック の文字が点灯し、操作制限が有効になります。

操作ロックで制限されているスイッチを操作した場合、操作ロック の文字が点滅します。

(操作ロックの機能有効で 操作ロック の文字が点灯します。)

2

〈操作ロックの解除〉

▽時間設定△**スイッチ**を同時に3秒押します。

操作ロック の文字が消灯し、操作制限が無効になります。

(操作ロックの機能無効で 操作ロック の文字が消灯します。)

●▽時間設定△スイッチを同時に3秒間押すごとに、操作制限の「有効⇔無効」が切り換わります。

●操作ロックで無効化するスイッチは、機能選択で選択することができます。詳しくはお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

その他の液晶表示について(つづく)

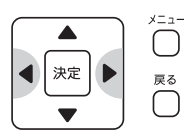
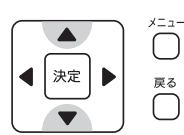
通常時の表示

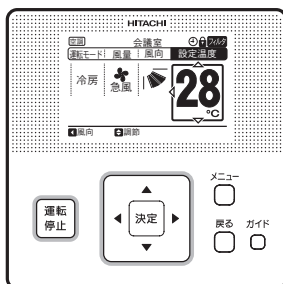
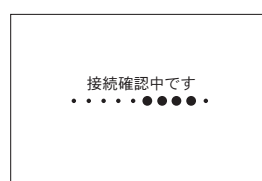
区分	内容	表示
温度調節器	**温度調節器作動**のとき ●表示は変わりませんが、**弱風運転**になります。 (暖房運転時のみ)	暖房 強風 空調 設定温度 20℃
除霜 (冷暖房兼用機のみ) (ビル用マルチ冷暖同時システムを含む)	**除霜運転**のとき ●「除霜中」が**点灯**します。 室内送風機は**停止**します。	暖房 強風 風向 除霜中 空調 設定温度 20℃ 点灯
	除霜運転中に運転を停止させたとき ●運転ランプは消えますが、「除霜中」の表示のまま運転は続行し、**除霜終了後に停止**します。	暖房 強風 除霜中 空調 設定温度 20℃
フィルター	**フィルターサイン** ●液晶表示の フィルタ が点灯し、エアーフィルターの清掃時期をお知らせします。 (☞24ページ) フィルターサインは積算運転1,200時間で点灯します。 掃除後 リセット スイッチを押すと表示は消えます。	冷房 強風 空調 設定温度 28℃ フィルタ 点灯
運転制御	**電源投入時** ● ホットスタート が**点灯**します。 圧縮機の予熱中です。最大で4時間運転できないことがありますので、冷暖房シーズン中は室外ユニットの電源を切らないでください。	冷房 強風 風向 空調 ホットスタート 設定温度 28℃ 点灯
	ホットスタートのとき ● ホットスタート が**点灯**します。 (暖房運転時のみ) (ホットスタート ☞23ページ)	暖房 強風 風向 空調 ホットスタート 設定温度 20℃ 点灯
	操作パネルから設定した運転モードと室外ユニットの運転モードが異なるとき (室外ユニットが[冷暖同時機]以外のとき) ●実運転モードが**点滅**します。	冷房 暖房 強風 風向 空調 設定温度 20℃ 点滅 室外ユニットの運転モードが「暖房」のときに操作パネルから「冷房」設定した場合

運転のしかた

その他の液晶表示について(つづき)

異常時の表示

異　常	●運転ランプ(赤色)が点滅します。 ●液晶に アラーム の文字が表示されます。 ●液晶に室内ユニット番号・アラームコード・機種コード・据付台数が表示されます。 ●操作パネルが複数台の室内ユニットと接続されている場合は、室内ユニットごとに順次表示します。
停　電	●すべての**表示が消え**ます。 ●停電などで運転が止まると、再び通電されても**再運転**しません。運転操作をやり直してください。 ●**約2秒**までの瞬時停電の場合は、自動的に**再運転**します。
ノイズ	●すべての**表示が消え**、運転も停止することがあります。これはノイズの影響で装置保護のためマイコンが作動したものです。運転操作をやり直してください。

基本の操作

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

オプションの多機能リモコン(PC-ARF1, PC-ARFV)をご使用になる場合にご覧ください。
詳細は多機能リモコンに付属の取扱説明書をご参照ください。

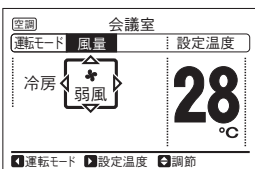
項目の選択	『◁』または『▷』**スイッチ**を押すごとに、の枠が 運転モード ⇔ 風量 ⇔ 風向 ⇔ 設定温度 と移動します。		
設定の変更	項目を選択した状態で、『△』または『▽』**スイッチ**を押すと設定内容が切り換わります。		

冷房・暖房・ドライ・冷暖自動・送風運転のしかた

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

暖房運転は、[冷暖房兼用機]のみの機能です。[冷房専用機]は、暖房運転できません。

準備	**電源**を入れます。 圧縮機保護のため、運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。 シーズン中は電源を切らないでください。		
1	『◁』または『▷』**スイッチ**で 運転モード を選択します。		
2	『△』または『▽』**スイッチ**を押すごとに、 冷房⇔暖房⇔ドライ⇔(冷暖自動)⇔送風 の順に切り換わります。		

●「冷暖自動」の使用については別途設定が必要です。詳しくはお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。
●「冷暖自動運転」については22ページをご参照ください。

温度設定のしかた

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

1

『◁』または『▷』**スイッチ**で 設定温度 を選択します。

2

『△』**スイッチ**を押すごとに、1℃ずつ上がります。(最高30℃)

『▽』**スイッチ**を押すごとに、1℃ずつ下がります。

(冷房・ドライ・送風モード時……最低19℃
暖房モード時……………………最低17℃)

●最高温度および最低温度は、機能選択の設定温度冷房下限値（または暖房上限値）設定により変更することができます。

風量設定のしかた

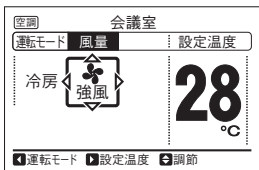
PC-ARF1, PC-ARFVの場合

1

『◁』または『▷』**スイッチ**で 風量 を選択します。

2

『△』または『▽』**スイッチ**を押すごとに、

左図のように切り換わります。

●ドライ運転時は自動的に「弱風」になり、風量の切り換えはできません（表示は設定状態のままです）。

運転のしかた

PC-ARF1, PC-ARFVの場合

運転	運転停止 **スイッチ**を押します。 運転ランプが点灯します。 運転を開始します。		

温度・風量の設定　●一旦設定すると設定状態を記憶していますので**日常の設定は不要**です。
設定を変更する場合は前ページの操作をしてください。

停止	もう一度 運転停止 **スイッチ**を押します。 運転ランプが消灯します。 運転を停止します。		

●暖房運転停止後、約2分間送風運転することがあります。

風向設定のしかた

PC-ARF1,PC-ARFVの場合

多機能リモコンによる風向設定は、RPV-AP50～160K(T)のみ可能です。

運転のしかた

1

運転/停止 **スイッチ**を押して運転を開始した後、『◁』または『▷』**スイッチ**で 風向 を選択します。

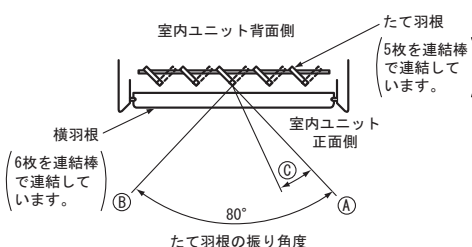
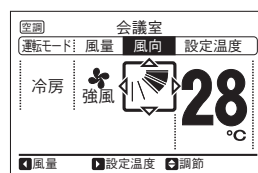
2

『△』または『▽』**スイッチ**を押すごとに、吹出角度が切り換わります。

	液晶表示	たて羽根の停止位置	
		冷房・ドライ	暖房・送風
		オートスイング	
①		Ⓐの位置	Ⓐの位置
②		Ⓒ 約20°	Ⓒ 約15°
③		Ⓒ 正面位置 約40°	Ⓒ 約25°
④		Ⓒ 約60°	Ⓒ 正面位置 約40°
⑤		Ⓑの位置	Ⓒ 約55°
⑥			Ⓒ 約65°
⑦			Ⓑの位置

冷房・ドライ時固定可能範囲（①～⑤）
暖房・送風時固定可能範囲（①～⑦）

（冷房およびドライ運転のときは⑥, ⑦の位置で押しても、自動的に⑤の位置に固定されます。）

でオートスイングを開始します。このとき、液晶表示はスイングを繰り返します。

液晶表示とたて羽根の向きの関係は、上図のようになっています。

- 液晶表示の羽根の位置と、エアコンの風向調節羽根の位置はオートスイング時に必ずしも一致しません。固定する場合は、液晶表示の位置を見て風向角度を設定してください。
- スイッチを押しても羽根がすぐにスイングおよび停止しないことがあります。
- 風向調節羽根は、オートスイング時約 25 ～ 30 秒の周期でスイングを繰り返します。
- たて羽根はオートルーバー機構が付いていますので、手動では動かさないでください。

冷暖自動運転について

冷暖自動運転は、[店舗/オフィス用冷暖房兼用シングル機]・[ビル用マルチ冷暖同時システム]のみの機能です。上記以外のシステムでは、冷暖自動運転できません。また、本機能は、冷房・暖房で温度変化が大きくなりますので、ご注意ください。

冷暖自動運転は、機能選択にて設定する必要があります。
詳しくは、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

運転と働き

●**冷暖自動運転** ...ご希望の温度を基準にして、自動的に「冷房」と「暖房」を切り換える運転です。

●吸込空気温度が設定温度より約3℃高いと「冷房」に、約3℃低いと「暖房」へと自動的に切り換わります。

メモ

●「弱風」で暖房運転すると、保護装置などが作動して運転停止しやすくなります。このようなときは「急風」または「強風」でお使いください。

●外気温度が高く(約21℃以上)なると暖房運転はできません。

自動運転について

自動で次の運転をします

暖房運転は、[冷暖房兼用機]のみの機能です。[冷房専用機]は、暖房運転できません。

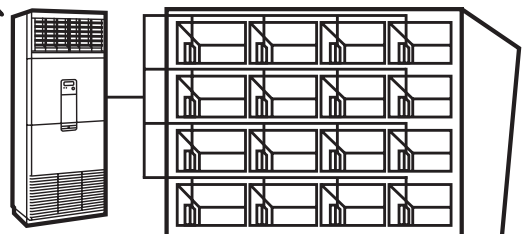
3分ガード		圧縮機運転停止後、圧縮機保護のために、最低3分間は圧縮機は再運転しません。約3分後には自動的に再運転します。
冷房運転時	凍結防止	室内ユニットの熱交換器の温度が異常に下がると自動的に圧縮機を止めて、送風運転をして熱交換器が凍結するのを防止します。
	膨張弁セルフクリーニング運転	冷房運転時、停止中の室内ユニットから時々冷媒の流れる音がします。これは、膨張弁セルフクリーニング運転をしているためで故障ではありません。 なお、この運転はビル用マルチエアコンのみ実施します。
暖房運転時	ホットスタート	暖房運転開始時、除霜運転後および暖房時に吹き出し温度が低いときに冷たい風が出ないように、風量を自動的に「微風→弱風→設定風量」と徐々に変えます（最大約 2 分間送風機が停止することがあります）。このとき、操作パネルに ホットスタート が表示されます。
	除霜運転	除霜運転中は冷たい風が出ないように、室内送風機は停止します。
	余熱排除	暖房運転停止時、室内ユニット内部の温度を下げるために、最大約 2 分間微風運転をする場合があります。
	過負荷防止	暖房運転のとき、室内温度によって異なりますが、外気温度が高い（約 21℃以上）場合は運転を止めます。

留意事項

- 暖房方式は部屋全体を暖める温風循環方式のため、部屋が大きい場合や室内温度が極端に低い状態から運転を開始した場合には、部屋全体が温まるまでに時間がかかります。部屋全体が温まると ホットスタート の文字は消えます。
- 除霜運転中および除霜運転直後に ホットスタート が表示される場合があります。冷風感を防止するため『ホットスタート制御』を作動させているためで、異常ではありません。

複数台同時運転について

複数台のエアコン（最大16台、ただし、ツインは最大8セット、トリプルは最大5セット、フォーは最大4セット）を1つの操作パネルまたは多機能リモコンで同時に操作できます。

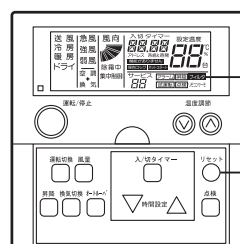
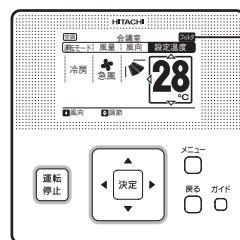
詳しくはお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

お手入れのしかた（つづく）

⚠警告	●お手入れの際は、必ずエアコンの元電源を切ってから作業してください。 感電および傷害の原因になります。	❗
	●お手入れの際は、足場はしっかりしたものを使用してください。 転倒および傷害の原因になります。	❗
⚠注意	●空気吸込パネルの開閉やエアーフィルターの取り付け時・取り外し時は手でしっかり保持してください。落下および傷害の原因になることがあります。	❗

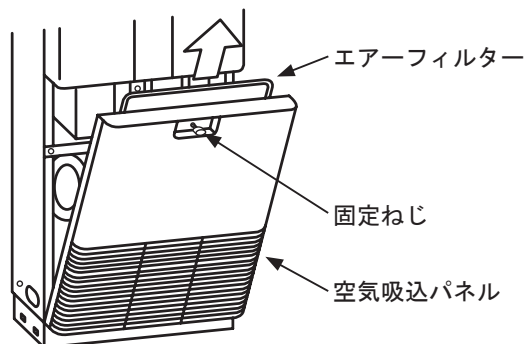
日常のお手入れ

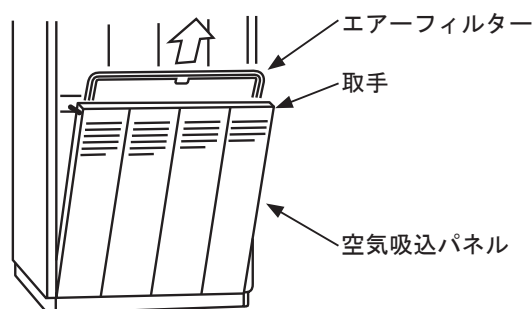
エアーフィルターの掃除のしかた

フィルターサインが点灯したらエアーフィルターの掃除をしてください。

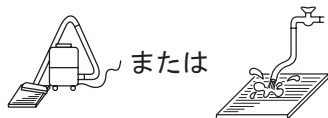
・操作パネル

・PC-ARF1
・PC-ARFV

1 **空気吸込パネルを開け、エアーフィルターを取り外します。**

《RPV-AP50 ～ 160K(T)の場合》

●エアーフィルターは空気吸込パネルの内側に取り付けられています。室内ユニットの運転を停止した後、空気吸込パネルの固定ねじを硬貨またはマイナスドライバーでゆるめて、空気吸込パネルを開けてからエアーフィルターを取り外してください。

《RPV-AP224, 280Kの場合》

●エアーフィルターは空気吸込パネルの内側に取り付けられています。室内ユニットの運転を停止した後、空気吸込パネルを開けてからエアーフィルターを取り外してください。
室内ユニットの空気吸込パネルの取手を手前に引き、内側のエアーフィルターを上方へ抜き出してください。

お手入れのしかた(つづき)

2 掃除します。

●エアーフィルターの汚れは電気掃除機で取り除くか、水および中性洗剤で洗い流してください。

●エアーフィルターは日陰で自然乾燥させてください。

留意事項

●50℃以上のお湯は使用しないでください。熱により変形する恐れがあります。
●直火・ドライヤー・ヒーターなどで乾かさないでください。エアーフィルターの変形の原因になることがあります。

3 エアーフィルターを取り付けます。

●エアーフィルターが乾いたら、必ず元どおり空気吸込パネルの収納部に正しく入れてください。

4 空気吸込パネルを閉めます。

留意事項

●エアーフィルターを取り付けてください。
外したまま運転すると故障の原因になることがあります。

5 フィルターサインをリセットします。

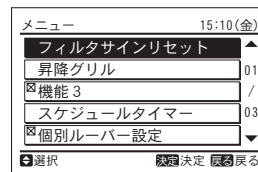
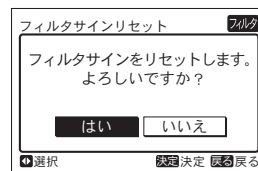
●操作パネルの場合
運転を再開するときには、必ず操作パネルのフィルターサインの(リセット)スイッチを押してください。フィルターサインが消灯して、次の掃除までの時間をカウントし始めます。

●多機能リモコン(PC-ARF1,PC-ARFV)をご使用の場合

留意事項

●設定されている積算時間に達していない場合は☒印が点灯し、「設定できません」が表示されます。

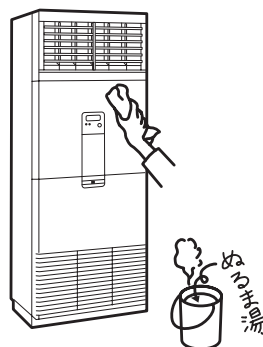
(メニュー)スイッチを押します。

メニュー画面で**フィルタサインリセット**を選択して、(決定)スイッチを押します。
フィルターサインリセット確認を表示します。

『◁』または『▷』スイッチで**はい**を選択して、(決定)スイッチを押します。
(フィルタ)の表示が消えて、運転操作画面に戻ります。

お手入れのしかた

空気吸込パネル･空気吹出口･外板のお手入れ

ぬるま湯を含ませた柔らかい布を固く絞って拭いてください

留意事項

●空気吸込パネル･空気吹出口･外板のお手入れには柔らかい布を使ってください。ベンジン・シンナー・洗剤（界面活性剤入り）などを使うと樹脂部分が変色や変形する原因になることがあります。また、吹出口周辺の部品（風向調節羽根など）は、力を入れすぎると破損する恐れがありますので、特に注意してください。

シーズン始めと終わりのお手入れ

シーズン　始め

●室内ユニットと室外ユニットの空気吸込パネルおよび**空気吹出口の障害物**を取り除いてください。

●室内ユニットの**エアーフィルターがつまっていない**ことを確認してください。

シーズン　終わり

●エアーフィルター・空気吸込パネル・空気吹出口を掃除してください。

故障かなと思ったら

こんなときは故障ではありません

症状		原因
運転が止まる	操作パネルの表示灯がすべて消えたとき。	電磁波などの影響で、装置保護のためにマイコンが作動したためです。運転操作を初めからやり直せば元に戻ります。
	停電があったとき。	運転操作を初めからやり直してください。なお、約2秒までの瞬時停電は、自動的に再運転します。
白い霧状の水蒸気が出る	暖房運転のとき。	暖房運転時の除霜運転中にこのような現象が起こる場合があります。
白い煙が出る	暖房シーズン始めの運転開始のとき。	室内ユニットの熱交換器に付着していたゴミが乾燥するためです。
霧が出る	飲食店や厨房などで使用している場合。	油脂類がフィンに多量に付着すると熱交換が悪くなり、霧を発生させることがあります。 ●ヒーター付機の使用はおやめください。
	ドライ運転のとき。	空気吹出温度が低くなったためです。運転パターンを変更してください。
	湿度の高い雰囲気での冷房運転のとき。	空気吹出温度が低くなったためです。設定温度を上げたり、風量を上げるなどしてください。
においが出る	運転中、室内ユニットから吹き出す風がくさい。	タバコの煙や部屋のにおいなどが室内ユニット内部に付いたためです。 エアーフィルター・空気吹出口・空気吸込パネルのお手入れや、送風運転で換気を十分してからご使用になると効果がある場合があります。
音が出る	運転の始めや運転の終わりのときに「ミシッ」という音がする。	樹脂部品が温度の変化によって伸縮して、相手部品とこすれる音です。
	運転中に「シュー」という水の流れる音や「ボコボコ」という水が沸騰するような音がする。	冷媒が流れる音です。特に運転開始時や圧縮機停止時（約3分間）に聞こえる場合があります。
	運転の始めや運転中に「ピキ」という音がする。	冷房運転時、室内ユニットの熱交換器に着いた水分が部分的に凍る、または溶ける際に発生する一時的な音です。
露がつく	空気吸込パネルやキャビネットに結露または露が落下する。	高湿度（相対湿度約80％）で長時間運転すると、結露する場合があります。
操作パネルに表示の ホットスタート が点灯する		運転モードおよび運転条件により、点灯または点滅することがあります。（☞ 16ページ）
操作パネルに表示の運転モードが点滅する		

故障かなと思ったら（つづく）

修理を依頼される前にお調べください

症　状		調べるところ	運転を再開するとき
運転しない		エアコンの元電源は入っていますか。	エアコンの元電源を入れてください。
		元電源のヒューズやブレーカーが切れていませんか。	ヒューズの交換、またはブレーカーを入れてください。 再発する場合は、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口へご相談ください。
運転するがすぐ止まる	冷房時	室外ユニットの空気吸込口や空気吹出口が紙・ビニール・洗たく物などでふさがれていませんか。	空気吸込口や空気吹出口をふさいでいる物を取り除いてください。
	暖房時	室外ユニットの空気吸込口や空気吹出口の近くに風の妨げになるものがありませんか。	風の流れの妨げになっている物を取り除いてください。
		吹出空気がそのまま空気吸込口に吸い込まれていませんか。	
よく冷えない、よく暖まらない		運転モードは適正ですか。	送風運転になっている場合は冷房（暖房）運転モードに切り換えてください。
		設定温度は適正ですか。	温度調節スイッチの ∨ 部（冷房時）、∧部（暖房時）を押してみてください。
		風の吹出方向は適正ですか。	吹出方向を変えてみてください。 暖房時、足元が暖まらない場合には、風向調節羽根を下向きにしてください。
		エアーフィルターが目づまりしていませんか。	エアーフィルターを掃除してください。
		部屋の窓や戸が開いていませんか。	窓や戸を閉めてください。
		室内ユニット・室外ユニットの空気吸込口や空気吹出口のまわりに障害物がありませんか。	障害物を取り除いてください。

故障かなと思ったら(つづき)

次の場合はお買い上げの店へご連絡ください

●前ページの点をお調べいただいても調子が良くならないとき、また、前ページの点以外の症状があるときは使用を中止してお買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

⚠警告

●異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して、元電源をただちに切ってください。
異常のまま運転を続けると故障・感電・火災などの原因になります。
お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

症　　状	次の処置をしてから連絡を
ヒューズ・ブレーカー・漏電遮断器などの安全装置がたびたび作動する、または運転スイッチの作動が不確実。	電源を切ってください。
エアコンから水が漏れる。	運転を停止してください。
●運転ランプ(赤色)が点滅します。 ●液晶に アラーム の文字が表示されます。 ●液晶に室内ユニット番号・**アラームコード**・機種コード・据付台数が表示されます。	次ページの「アラームコード一覧表」を参照し、操作パネルの表示内容を連絡してください。

●操作パネルが複数台の室内ユニットと接続されている場合は、室内ユニットごとに順次表示します。
液晶の内容を確認して、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

交互に1秒間ずつ表示します。

多機能リモコン(PC-ARF1, PC-ARFV)をご使用の場合

お買い上げの店にご連絡のときお知らせください

1 型式 ー型式の表示箇所は(☞5, 6ページ)

2 故障の症状 ーできるだけ詳しく

3 アラーム表示の番号 ー(☞17, 30ページ)

故障かなと思ったら

アラームコード一覧表

アラームコード	アラーム内容	アラームコード	アラーム内容
01	室内保護装置作動	38	保護検出回路異常
02	室外保護装置作動	39	一定速圧縮機電流異常
03	伝送異常(室内一室外)	41	冷房過負荷
04	伝送異常(インバーター)	42	暖房過負荷
05	相検出異常	43	圧力比低下防止保護作動
06	室外電圧低下異常	44	低圧圧力上昇保護作動
07	吐出ガススーパーヒート低下異常	45	高圧圧力上昇保護作動
08	圧縮機上温度過昇	46	高圧圧力低下保護作動
09	室外送風機保護装置作動	47	低圧圧力低下保護作動
11	吸込空気温度サーミスター異常	48	過負荷運転保護作動
12	吹出空気温度サーミスター異常	51	インバーター電流センサー異常
13	室内熱交液管温度サーミスター異常	52	インバーター過電流保護作動
14	室内熱交ガス管温度サーミスター異常	53	トランジスターモジュール保護作動
19	室内送風機保護装置作動	54	インバーターフィン温度上昇保護作動
20	圧縮機上部温度サーミスター異常	56	室外ファンモーター位置検出異常
21	高圧圧力センサー異常	57	室外ファンモーターコントローラー保護作動
22	外気温度サーミスター異常	58	室外ファンモーターコントローラー異常
23	吐出ガス温度サーミスター異常	90	蓄熱ユニットアラーム
24	配管温度サーミスター異常	91	蓄熱フロートスイッチ異常
29	低圧圧力センサー異常	92	水位異常
31	室内外組み合わせ誤り	99	蓄熱リモコン伝送異常
32	他室内ユニット号機設定誤り	b1	アドレス・冷媒系統設定誤り
35	室内ユニット号機設定誤り	EE	圧縮機保護アラーム
36	室内ユニット組み合わせ誤り		

製品の種類と運転音

(50/60Hz)

項目 ＼ 型式		RPV-AP50K RPV-AP50KT	RPV-AP56K RPV-AP56KT	RPV-AP63K RPV-AP63KT	RPV-AP71K RPV-AP71KT	RPV-AP80K RPV-AP80KT
種類	機能	冷暖房兼用型、冷房専用型				
	ユニット構成	分離式				
	凝縮器の冷却方式	空冷式				
	送風方式	直接吹出型				
電源	単相	200V 1φ 50/60Hz				
	三相	200V 3φ 50/60Hz				
運転音〔dB(A)〕		急 42 強 38 弱 34	急 42 強 38 弱 34	急 44 強 40 弱 36	急 46 強 42 弱 38	急 46 強 42 弱 38

項目 ＼ 型式		RPV-AP90K RPV-AP90KT	RPV-AP112K RPV-AP112KT	RPV-AP140K RPV-AP140KT	RPV-AP160K RPV-AP160KT
種類	機能	冷暖房兼用型、冷房専用型			
	ユニット構成	分離式			
	凝縮器の冷却方式	空冷式			
	送風方式	直接吹出型			
電源	単相	200V 1φ 50/60Hz			
	三相	200V 3φ 50/60Hz			
運転音〔dB(A)〕		急 47 強 45 弱 42	急 49 強 45 弱 42	急 53 強 48 弱 44	急 56 強 51 弱 46

項目 ＼ 型式		RPV-AP224K	RPV-AP280K
種類	機能	冷暖房兼用型、冷房専用型	
	ユニット構成	分離式	
	凝縮器の冷却方式	空冷式	
	送風方式	直接吹出型	
電源	単相	200V 1φ 50/60Hz	
	三相	—	
運転音〔dB(A)〕		急 52/53 強 50 弱 48	急 54/55 強 52/53 弱 50

留意事項

運転音は反響の少ない無響室などの部屋で、製品正面 1m・地上高さ 1m の測定位置置における値 (A スケール) を表示します。実際の据付状態では、周囲の騒音や反響を受け、表示値より大きくなります。また、運転開始時や暖房時の除霜運転中など、冷媒の状態が変動すると冷媒の流れる音により、運転音が大きくなる場合があります。

製品の保安上の明細

355型以上の室外ユニットと組み合わせられる場合は法定冷凍能力5トン以上の製品となるため、高圧ガス保安法に基づき冷媒ガスの圧力を受ける部分の材料、構造を遵守し、圧力試験が実施されています。

冷媒ガスの圧力を受ける部分の部品を交換または修理される場合(法定冷凍能力5トン以上)は、資格(冷凍機器製造事業所)のあるサービス工事店に依頼されるようお願いいたします。

熱交換器	型　式		—	多通路クロスフィン式
	許容圧力	R410A	MPa	4.15
	台　数		—	1（ユニット1台当たり）
	主要材料		—	C1220T-0（リン脱酸継目無銅管）

保証とアフターサービスについて(つづく)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

※本製品(パッケージエアコン)は、業務用エアコンです。

良好な状態でお使いいただくため、お客様の行う日常点検(フィルター清掃など)に加え、専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。

下記の【設計上の標準使用期間とは】は、家庭用としてご使用された場合を想定して表示をしています。

【本体への表示】

※経年劣化による危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を、本体の銘板近傍に行っています。

〔製造年〕(本体の銘板(仕様銘板)の中に西暦４桁で表示してあります。)

※【設計上の標準使用期間】　１０年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、
経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

【設計上の標準使用期間とは】

※運転時間や温湿度など、下表の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件…(社)日本冷凍空調工業会の自主基準(家庭用エアコン)による

区分	項目		条件
環境条件	電源電圧		定格表示電圧による
	周波数		定格表示周波数による
	冷房	室内温度	27℃ (乾球温度)
		室内湿度	47% (湿球温度:19℃)
		室外温度	35℃ (乾球温度)
		室外湿度	40% (湿球温度:24℃)
	暖房	室内温度	20℃ (乾球温度)
		室内湿度	59% (湿球温度:15℃)
		室外温度	7℃ (乾球温度)
		室外湿度	87% (湿球温度:6℃)
	設置条件		機器の据付点検要領書による標準設置
負荷条件	住宅		木造平屋,南向き和室,居間
	部屋の広さ		機器能力に見合った広さの部屋(畳数)
想定時間	1年当たりの使用日数		東京モデル 冷房：6月2日から9月21日までの112日間 暖房：10月28日から4月14日までの169日間
	1日当たりの使用時間		冷房：9時間／日 暖房：7時間／日
	1年間の使用時間		冷房：1,008時間／年 暖房：1,183時間／年

●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

保証とアフターサービスについて(つづき)

保証について

保証書は、組み合わせられる室外ユニットに付属しています。

●保証書はお買い上げの店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保存してください。

●保証期間は、試運転完了日から起算して1年間です。保証期間中、万一、故障したときは、保証書記載事項に基づいて1年間は無償修理いたします。お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご連絡ください。
なお、保証期間中でも有償になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理は有償になります。
なお、エアコンの故障に起因した営業補償などの二次補償はいたしません。

●良好な状態でエアコンをお使いいただくため、お客様の行う日常点検(フィルター清掃など)以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の「点検周期」および定期点検に伴なう「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は下表を目安にされると便利です。(本表は主要部品を示します。詳細は保守契約に基づいて確認してください。)
なお、保守点検は契約会社によって若干内容の違いがありますので、契約時によくお確かめください。

表1の保全周期および表2の交換周期は保証期間を示すものではありません。

ご使用条件	(1)頻繁な発停の無い、通常のご使用状態であること。 (2)製品稼動時間は10時間/日、2,500時間/年と仮定します。

表1　主要部品の「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期【交換または修理】	主要部品名	点検周期	保全周期【交換または修理】
圧縮機	1年	20,000時間	電子膨張弁	1年	20,000時間
モーター(ファン・ルーバー・ドレンポンプなど)		20,000時間	センサー(サーミスター・圧力センサーなど)		5年
バルブ(電磁弁・四方弁など)		20,000時間	ベアリング		15,000時間
プリント基板類		25,000時間	ドレンパン(注2)		8年
熱交換器		5年	リモコンスイッチ・スイッチ類		25,000時間

注1. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安時間を示していますので、適切な保全計画(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。
注2. 建築物衛生法(旧ビル管理法)の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要になります。
注3. 運転状況によっては点検周期および保全周期が異なります。例えば下記の場所でご使用される場合には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
- 温度・湿度の高い場所、またはその変化の激しい場所。
- 電源(電圧・周波数・波形歪みなど)や負荷変動が大きい場所。
- 振動・衝撃が多い場所。

表2　主要部品の「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	ヒューズ	1年	5年
高性能フィルター		1年	クランクケースヒーター		8年

注1. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安時間を示していますので、適切な保全計画(部品交換費用の予算化など)のためにお役立てください。

●故障の発生は、定期点検実施の場合でも、予期できない突発的偶発故障が発生する場合があります。
この場合、保証期間外での故障修理は有償になります。

●補修用性能部品の保有期間について
このエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
弊社は補修用性能部品を調達したうえ、修理によって機能を維持できるときは、お客様のご要望により有償修理いたします。

保証とアフターサービスについて

アフターサービスご契約のおすすめ

●弊社指定のサービス店と保守契約（有償）いただければ、日立パッケージエアコン専門のサービスマンがお客様に代わって点検をします。
万一の故障のときも早期に発見し、適切に処置をすることができます。

●使用される環境下により残存するドレン水が変質し、ドレンパン出口やドレンポンプのつまりが発生することが稀にあります。また、ドレン水の変質により製品内部に錆びやカビなどが発生し、異臭などの原因にもなりますので定期的な清掃をお願いいたします。

移設および廃棄について

●転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。

●エアコンを長年お使いになったあと廃棄されるときは、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。